



第 195 号
発行：清内路公民館
広 報 部
印刷：南信州新聞社

おめでとう た特集

十一人出生おめでとう!!
皆さんが大きくなって、この館報を十一人で見られる事を楽しみにしています。

清内路地区で二ケタの出生は何と約三十年前までさかのぼります。平成が終わろうとしている今ですが、平成の始めにあった二桁の出生を最後に三十年近く一桁の出生でした。少子高齢化が叫ばれる中、阿智村は一年で約百人の人口が減少していますが、唯「清内路」地区だけは増加しており、多種多様な清内路地区の取組の成果が徐々に現実的なデータとして表れてきていると考えられます。今後、小学生は少し減少に転じますが、保育園は増加傾向です。自ずと小学生も増加に転じてくることと思います。

しかし、一人一人の力が大切な状況は変わりません。引き続き、清内路らしい取組の継続をしていきましょう。



伊東 紀乃きのの (亮・愛子)



元氣いっぱい子育てください!! (勝・歩美)



熊谷 薫すみれ

薫の花のように小さくても、立派に花を咲かせる強さやたくましさがある存在になってほしいです。(宏・佑理子)



原 なぎさ (崇久・理恵)

本年度生まれた花火の里、 花桃の里に輝く新星のみなさんです。 清内路の皆さん、よろしくお願ひします。



櫻井 雅みやび (達也・真弓)

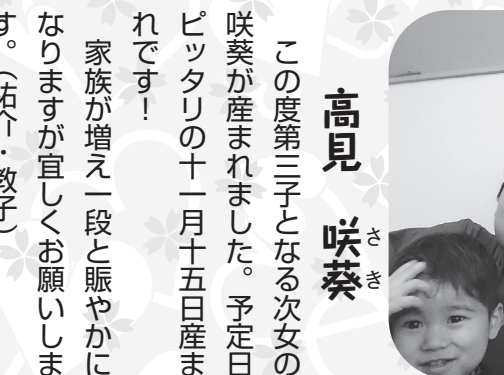


生まれれてきてくれてありがとう!!
よく遊んで、よく寝て、たくさん笑って泣いて、元気に育ってね!! (一也・キミ江)

櫻井 愛弓・幹大あゆみ かんた



小林 奏汰そうた (修・佳奈)



高見 咲葵さき

この度第三子となる次女の咲葵が産まれました。予定日ピッタリの十一月十五日産まれました!!
家族が増え一段と賑やかになりますが宜しくお願ひします。(祐介・教子)



松尾 琴音ことね (達也・こずえ)



二月十三日に第二子が誕生しました。女の子で、名前は高村真由子です。真面目という言葉を参考に名前をつけましたが、この本来の意味は「うそやいいかげんなどころがなく、真剣であること。本気であること」という意味だそうです。そんな子になってほしいと思います。皆様可愛かったです。ありがとうございます。(毅郎・美帆)

高村真由子まゆこ

清内路のイベント

次はあなたが主役です 是非参加してね

阿智村駅伝大会

櫻井 英希

十一月二十五日に第五十回阿智村駅伝大会がありました。僕は初めて三区を走ったけど村内小学生で区間賞を取ることが出来ました。この区間賞を取ることは出来たのは一区と二区を走ってタスキをつないでくれた人のおかげだと思います。そして、駅伝大会までの練習で厳しく教えてくださった清内路小学校駿足の応援をして下さった先生方、保護者の方々の想いがあつたからだと思いました。決して僕だけの力でとれた区間賞で



はないし、小学校最後で良い成績を残せてよかったです。小学校で3年間、駅伝大会に出場できて良かったです。

苦しかった駅伝大会

櫻井 克幸

ぼくは駅伝大会というと毎年有志会チームの役員として交通整理係をやったり、慰労会用のおでんを作ったりしていましたが、今回は一也くん「子供たちのために走る」という男気に煽られて、選手になつてしまいました。長年走ることが無かったので、どんなものかと思って少し走ったら、心肺機能の低下を思い知らされたので、毎晩少しづつ距離を伸ばしながら走って一応準備しました。ぼくが走ったのは五区でした。距離は二番目に短いですが、ずっと登りの区間で、走っても走っても、ちっとも前に進んだ気がしませんでした。呼吸が乱れてだんだん視野が狭くなるような感覚になり、



歩いちゃおうかなと思いついた頃中継所が見えてきたので、頑張つて走りきりました。正さんに襷を渡したあと、中継所で見慣れた清内路公民館の人たちに迎えられる、完走できたこともあつてほっとしました。でも、おでんの卵の殻をむくよりずっと辛く苦し

こたつで語る会

櫻井 克幸

二月二十四日(日)、第十七回せないじ村塾として、恒例となりつつある「こたつで語る会」が行われました。炬燵を囲んで、少々般若湯の力を借りつつ、参加者各自の近況に始まり、花火の話、伝統野菜の話などで盛り上が

りました。今回は中堅以上の方の参加が多く、話の中で特に今後心がけないといけないと思つたことがあります。それは、日本・敢えて言えば清内路は極めて最近に近代化したという事です。これからオリンピックを含め海外から多くの人を迎える

い時間でした。同じ区間を走った佑介君より四十秒遅かったのはくやしかったです。佑介君の方が

どんど焼き

どんど焼きに行つて

櫻井このは

一月六日にどんど焼きがありました。今年はおもしろい最後になってしまふかもしれないので行くことが出来て良かったと思うし、一つの思



い出になるので行つて良かったと思つた。十時頃から準備をしました。しっかりと作業が出来たので良かったです。準備が終わつた後は畑の方まで行き、今年はおと珠雲さんがイノシシ年だったので点火を行いました。良い体験が出来て良かったです。

神田みゆき

地域伝統行事どんど焼きに初めて参加させて頂きました。集められた各家庭のお正月飾りなどをみんなで積み上げて、燃やされ高く舞上がった炎

三ヶ月若いのでしようがないと思つた。



を見て少し圧倒されました。毎年参加していた娘から聞いていましたが、燃やした後の炭でバーベキューをされていたことも驚きました。ご近所さんのバーベキューに混ぜてもらい嬉しかったです。娘にとっては、五年生で点火係ということもあり、良い経験になったと思つた。



清内路自治会報

おおまき



自治会役員退任挨拶

副自治会長 原 菊晴

日頃自治会活動にご理解、ご協力を頂き感謝申し上げます。

二月三日桂川雅信先生をお招きして、盛り土の安全性等に関する学習会を清内路公民館にて行いました。当日は多数の住民の方に参加を頂き住民の関心の高さを感じました。勉強会の回数を重ね寄り一層の安全対策を希望致します。

間もなく二年間の副自治会長の仕事に幕を引く事が出来ます、これもひとえに会員の皆様の支えの賜物と感謝申し上げます。此れからは清内路地区の益々のご発展を一住民として応援して行きたいと思えます。簡単ですが心より御礼申し上げます。ありがとうございます。

総務部長 櫻井 昇

総務部長を担当しました櫻井昇です。

地域の為にとり上げた案件も道半ば終わってしまい残念ですが、結果の出せた案件

もありました。皆さんの協力に感謝します。一年間ありがとうございました。

生活環境部長 櫻井 菊廣

二年間生活環境部で活動してまいりました。環境美化整備では地域の皆様のご協力を頂き整備作業が出来ました。

花桃の植樹では自治会員の皆様のご協力で環境整備を含めて植樹できたので五月には花が咲き始めると思います。

至らない点も多々あり、まだやり残した事業が有りましたが次の役員の皆様に引き次いでお願い致します。

次年度からは自治会員として自治会の活動に協力をしていきますのでよろしくお願います。

退任の挨拶といたします大変お世話様になりました。

教育福祉部長 原 敏秀

この度、三月末で自治会役員を退任いたします原敏秀です。平成二十九年度に地区で選出されて以来二年間、教育福

祉部を担当し、大過なく職務を果たすことができましたのは、ひとえに皆様方のご指導、ご鞭撻のお蔭と心より感謝いたしております。今後、会員として自治会発展に協力し

清内路小学校統合五十周年記念式典開催される

清内路公民館文化祭同時開催!!

清内路小学校統合五十周年によせて

PTA会長 太田 冬樹

十一月十日(土)に統合五十周年記念式典が盛大に行われましたこと、心より御礼申し上げます。記念行事として、校舎と人文字の航空写真撮影、バルーンリリースと記念品除

豪邸が空き家に!!

清内路空き家の会 岡本 雄太

二月十六日(土)清内路空き家の会は、野村会長他七名の一行で伊那市の新山地区を視察に訪れました。最初に新山集落センターにて「新山定住促進協議会」の四名の皆さんとの懇談の中で、移住者の為の空き家、住宅用地の相談、照会

の取り組みについて活発な意見交換が行われました。その後、担当の倉澤さんの案内で現地を視察、広大な地域に点在する空き家を数軒見させてもらいましたが、まず驚いたのは、昔庄屋だった人

ていきたいと思っています。末筆ながら自治会員皆様のますますのご活躍をお祈り申し上げます。書中にて退任のご挨拶とさせていただきます。

幕式を行いました。また、記念品として生徒玄関の上に飾る校章を送りました。

式典当日は、子供太鼓、花火太鼓、コカリナの演奏、過去に清内路小学校にお勤め頂いた三名の先生方による講演会を行い、来賓として阿智村長、教育長、議会議員各位にも出席して頂きました。

また、後日にはクリアファイル、リーフレットを作成し、清内路地区へ全戸配布しました。何かの折に思い出して使って頂けたらありがたいと思います。

式典実行にあたり、ご尽力頂いた皆様に感謝申し上げます。

学校も存続の危機に陥りました。その後五年をかけて地域全体で定住者呼び込みの努力に努め、先年保育園が再開され、小学校も小規模特認校制度により存続可能に至りました。それでも地域の唯一の販売拠点だった農協Aコープの撤退を聞かされ、中山間地の厳しさを痛感しました。

学校も存続の危機に陥りました。その後五年をかけて地域全体で定住者呼び込みの努力に努め、先年保育園が再開され、小学校も小規模特認校制度により存続可能に至りました。それでも地域の唯一の販売拠点だった農協Aコープの撤退を聞かされ、中山間地の厳しさを痛感しました。

学校も存続の危機に陥りました。その後五年をかけて地域全体で定住者呼び込みの努力に努め、先年保育園が再開され、小学校も小規模特認校制度により存続可能に至りました。それでも地域の唯一の販売拠点だった農協Aコープの撤退を聞かされ、中山間地の厳しさを痛感しました。

学校も存続の危機に陥りました。その後五年をかけて地域全体で定住者呼び込みの努力に努め、先年保育園が再開され、小学校も小規模特認校制度により存続可能に至りました。それでも地域の唯一の販売拠点だった農協Aコープの撤退を聞かされ、中山間地の厳しさを痛感しました。

学校も存続の危機に陥りました。その後五年をかけて地域全体で定住者呼び込みの努力に努め、先年保育園が再開され、小学校も小規模特認校制度により存続可能に至りました。それでも地域の唯一の販売拠点だった農協Aコープの撤退を聞かされ、中山間地の厳しさを痛感しました。

学校も存続の危機に陥りました。その後五年をかけて地域全体で定住者呼び込みの努力に努め、先年保育園が再開され、小学校も小規模特認校制度により存続可能に至りました。それでも地域の唯一の販売拠点だった農協Aコープの撤退を聞かされ、中山間地の厳しさを痛感しました。

学校も存続の危機に陥りました。その後五年をかけて地域全体で定住者呼び込みの努力に努め、先年保育園が再開され、小学校も小規模特認校制度により存続可能に至りました。それでも地域の唯一の販売拠点だった農協Aコープの撤退を聞かされ、中山間地の厳しさを痛感しました。

学校も存続の危機に陥りました。その後五年をかけて地域全体で定住者呼び込みの努力に努め、先年保育園が再開され、小学校も小規模特認校制度により存続可能に至りました。それでも地域の唯一の販売拠点だった農協Aコープの撤退を聞かされ、中山間地の厳しさを痛感しました。

学校も存続の危機に陥りました。その後五年をかけて地域全体で定住者呼び込みの努力に努め、先年保育園が再開され、小学校も小規模特認校制度により存続可能に至りました。それでも地域の唯一の販売拠点だった農協Aコープの撤退を聞かされ、中山間地の厳しさを痛感しました。



天神様祭り報告記

清内路こども会 岡本 雄太

二月二十四日(日)恒例の天神様祭りが行われ、十数人の子ども達が保護者やこども会運営委員と共に天神様の掛け軸

が飾られた家々を回り、お参りしました。その前段階で、子ども達は下集会所にてお供えの花づくりも体験し、梅の枝に炒ったポップコーンを、ご飯を押し練りした糊でくっつけて梅花を上手に作り出しました。良い伝統を学んだようです。

よろしくお願ひしまーす



妻：アウリア 瑞乃(Mizuno Aulia)
夫：アウリア ダニー ワヒユ
(Dhani Wahyu Aulia) 上清 宮下

しい環境の中で生活しようと一緒に清内路に住むことを決めた。お互いにここ清内路で何が出来るのか日々模索しながらも新しい生活を楽しんでいきます。

雪はないけど、

今年もサンタが

やってきた！

青年会では、十二月二十四日の夜にサンタ企画を行いました。毎年恒例とはいえ、自分自身は初めてこの企画に加わりました。その場の流れでサンタ役を引き受けることになってしまいました。子どもたちに喜んでもらえるならと思つて、サンタの衣装をま

あの鐘を鳴らすのはー

除夜の鐘2018

今年も下清内路の除夜の鐘を青年会が数えさせて頂きました。

今年も雪が全くなく、いつも以上に人が来るのではと期待していましたが、そんなに突然増えるわけもなく、今年も回来れなかった方も、年末はぜひ鐘を鳴らしにお越しください！



い、意気込んで地区内の子どもたちがいる家に突撃しました。きつとみんな喜んでくれるに違いない、そう思っていたのですが、少し怖かったのかな？何人か(特に小さい子たち)泣かせてしまいました。夢を届けるはずのサンタなのに、恐怖を届けてしまつてごめんなさい！サンタ業も簡単ではないんだなということとを痛感させられました。でも喜んでくれる子どもたちもいて、そういうときはほつと

下清内路煙火有志会 記念式典開催

二月十七日(日)、清内路公民館において、下清内路煙火有志会の発足五十周年を記念する式典が開催されました。飯田市美術博物館の櫻井弘人氏による「南信州の煙火」と題した講演と、現会員並びにOB、下清内路正副区長等を交えた祝賀会が主だった内容でした。

さて、世間では平成最後の年越しだとかで賑わっていたようです。しかし、何という時代だったか、何という時代になるかということは正直どうでもよいこと。それよりも重要なのは、どういう時代だったか、どういう時代になるかということ、そして、どういう時代にかといこと。時代は特定の誰かのモノではありません。ゆく年く



人口	565人 (6,268人)	世帯	230戸 (2,319戸)
〇うぶごえ	高見 咲葵(さき)	高村真由子(まゆこ)	熊谷 薫(すみれ)
原 一弘(92) 上清二	櫻井 邦子(85) 下清一	櫻井 宗治(79) 下清二	櫻井かほる(106) 下清一
原 七子(92) 上清二	野村 今よ(97) 下清二		

戸籍の窓

講演は、江戸時代より南信州各地に根付いた伝統煙火の経緯や衰退、今なお残る各神社の大三国など、大変興味深く、参考になる内容でした。後半の祝賀会では、有志会発足当時から携わられたOBの皆さんによる思い出話や苦労話のご披露、清内路振興室に残る過去にテレビ取材された数々の映像上映等が行われました。古い物では昭和四〇年代のNHKによる映像などもあり、即興でOBの方に解説頂きながら楽しいひと時と

編集後記



平成最後になる公民館報。一面を多くの子供たちで賑やかに飾ることができてとても嬉しく思います。今年の冬はなんだか冬？と思うような暖かい冬でした。雪かきも少なく、持病の腰痛にとっても優しく、早く起きてかかなくては何ならぬ日もある。どない平和??な冬ありがたかったです。公民館活動も、広報に関わってなければなかなか参加することも無いほどの日々を送っていましたが、普段関わることが少ない人との交流、話題。久しぶりに清内路に関わっていたんだと思う一年でした。